

基幹管路及び重要給水施設配水管耐震化計画

【事業概要】

山武郡市広域水道企業団では、新たな時代の要請に適切に対応するとともに、より質の高い給水サービスの実現を目指すため、平成 22 年度に「地域水道ビジョン 2010」を策定したところです。

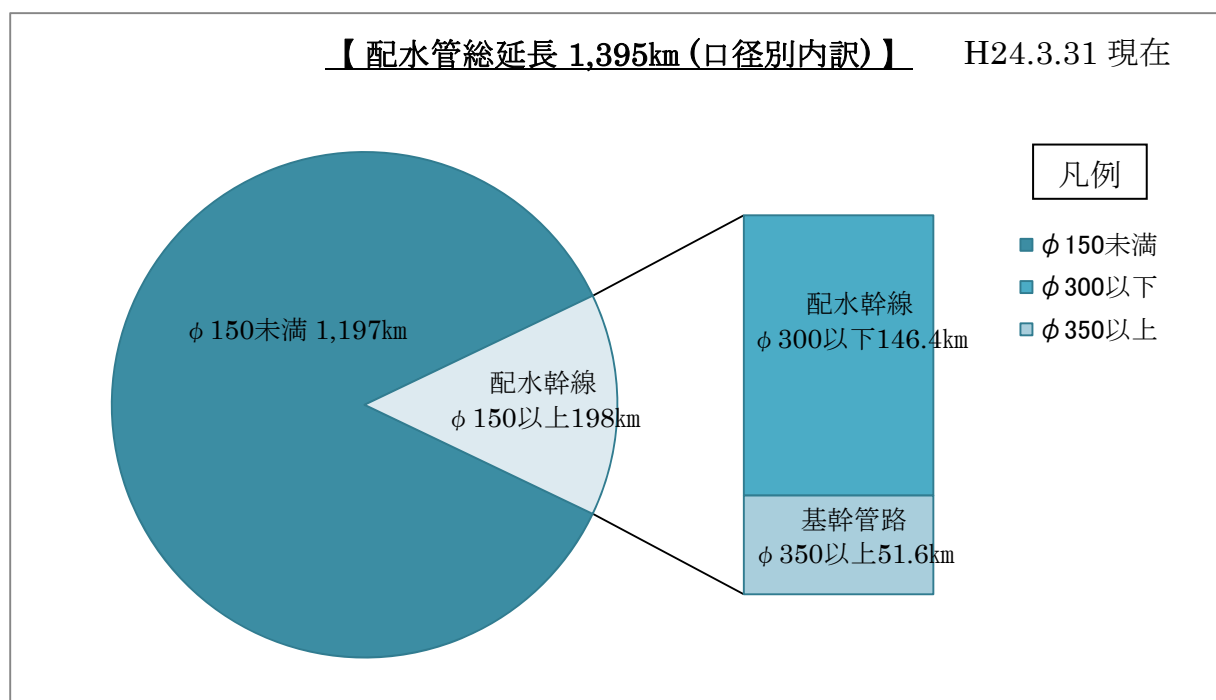
同ビジョンの主要施策である「施設の耐震化促進」において、配水管路の耐震化として口径 350mm 以上の基幹管路及び重要給水施設（病院施設・災害時における避難所、応急給水拠点等）への安定した上水供給を確保するため、配水管路の耐震化を推進するものとしています。

これに基づき、主要配水幹線である基幹管路の耐震化計画及び重要給水施設配水管の耐震化計画を策定しました。

【基幹管路の耐震化計画】

1 概要

給水区域内における配水管の総延長は、1,395 Km におよび、そのうち配水幹線となる口径 ϕ 150mm 以上の配水管延長は 198 Km、うち主要配水管である基幹管路となる口径 ϕ 350mm 以上の配水管延長は 51.6 Km となりますが、基幹管路のほとんどは、企業団創設期（昭和 50 年～54 年）に敷設された配水管であり、老朽化と非耐震性の管種であることから早々の更新を必要とする管路となります。



2 計画概要

平成 29 年度(設計調査：平成 28 年度)から平成 38 年度の 10 箇年を計画施行年度として
います。

また、耐震化計画の優先順位を配水管路の上流から下流へ実施することを基本とし、非
耐震性の配水管や老朽管路を優先的に行うものとし、基幹管路については、総延長 51.6 Km
のうち、耐震化済路線 9.7Km を除く 41.9 Km について実施する耐震化計画です。

3 事業費

事業費は、約 6,481,870 千円(税抜き)を見込み、各年度の事業量は、下表のとおり予定
しています。

基幹管路耐震化計画事業費

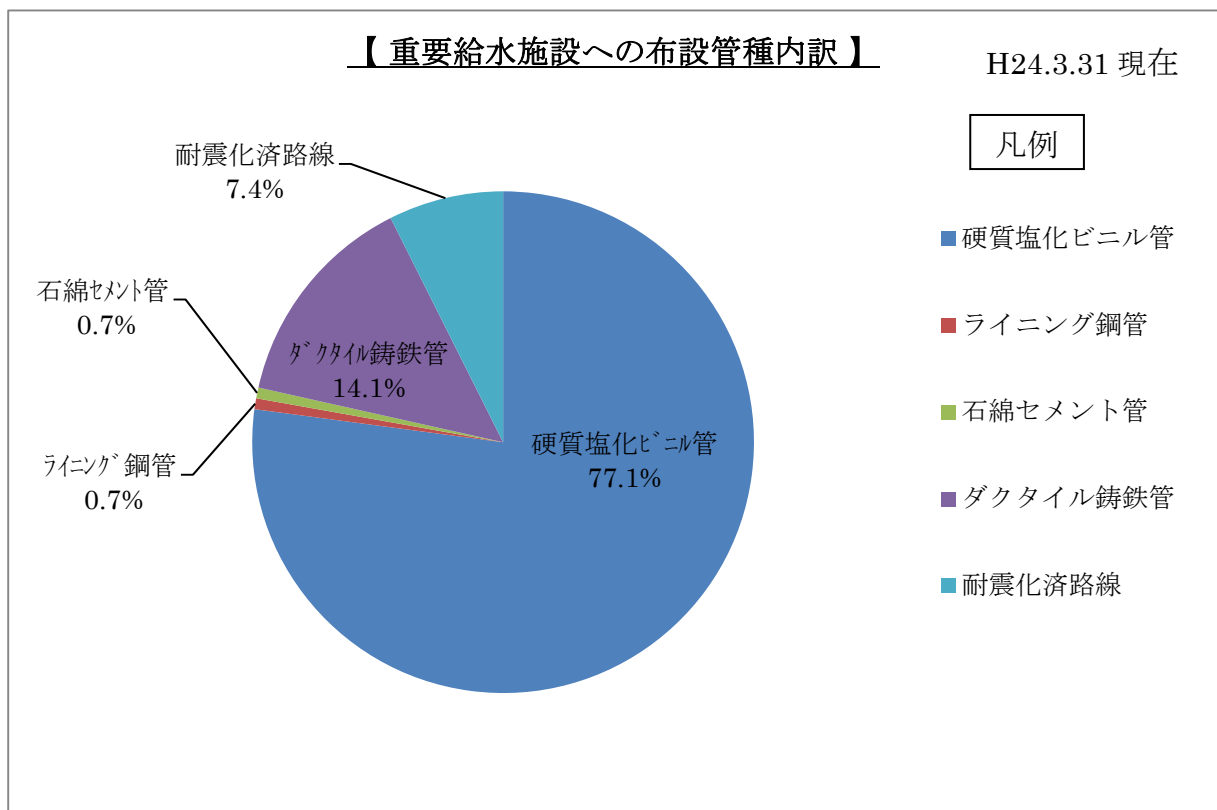
単位：千円(税抜き)

年度	口 径	延長(m)	概算工事費	概算設計費	概算事業費計	備 考
H28				10,000	10,000	
H29	φ 350	4,640	612,480	10,000	622,480	
H30	φ 350～450	4,710	639,210	10,000	649,210	
H31	φ 350～450	4,890	654,720	10,000	664,720	
H32	φ 350	4,480	591,360	10,000	601,360	
H33	φ 350	4,990	658,680	10,000	668,680	
H34	φ 350～600	3,550	668,190	10,000	678,190	
H35	φ 450～600	3,200	630,100	10,000	640,100	
H36	φ 400～600	3,660	640,100	10,000	650,100	
H37	φ 350～500	3,680	598,550	10,000	608,550	
H38	φ 400～600	4,140	688,480		688,480	
計		41,940	6,381,870	100,000	6,481,870	

【重要給水施設配水管耐震化計画】

1 重要給水施設の現状

給水区域内における、主要病院は 11 施設（平成 26 年 4 月開業 2 施設含む）、各市町指定の避難場所 111 箇所（内 4 箇所は未給水施設）、収容人数が概ね 20 人以上の老人福祉施設等は 16 箇所の計 138 箇所あり、これら施設の給水管の接続配水管の管種は、硬質塩化ビニル管 103 箇所・ダクティル鋳鉄管（A 形・T 形）19 箇所・ライニング鋼管 1 箇所・石綿セメント管路線 1 箇所及び耐震化済路線 10 箇所の計 134 箇所（未給水 4 箇所除く）となっています。現在、124 箇所の重要給水施設への供給用管路が非耐震性の管種であり、地震等災害時における同施設への給水確保が困難となることが想定されます。



2 計画概要

計画概要としては、配水管の更新 124 箇所（更新延長 60.8Km）を対象とし、平成 27 年度～平成 41 年度の 15 箇年で主要病院 11 箇所、指定避難場所 51 箇所、老人福祉施設 9 箇所の計 71 箇所（更新延長 26.7Km）の更新を行い、残り 53 箇所については、平成 42 年度以降、他工事及び他事業者と連絡調整を図りながら施工延長ベースで年間 1.5～2.0Km を更新する計画としています。

3 事業費

事業費は、平成 27 年度～平成 41 年度の 15 箇年で 1,928,360 千円、平成 42 年度以降で 2,843,910 千円、総事業費として約 4,772,270 千円を見込み、各年度の事業量は、下表のとおり予定しています。

重要給水施設配水管耐震化事業費 (税抜き)

年度	更新数	延長	概算事業費 (千円)	備考
H27	1 箇所	1,560m	141,960	
H28	8 箇所	1,740 m	131,420	
H29	6 箇所	1,800 m	129,920	
H30	4 箇所	1,500 m	127,760	
H31	3 箇所	1,600 m	129,640	
H32	5 箇所	1,810 m	128,310	
H33	5 箇所	2,020 m	126,820	
H34	3 箇所	1,660 m	130,660	
H35	6 箇所	2,080 m	131,180	
H36	3 箇所	1,650 m	128,730	
H37	6 箇所	1,680 m	122,890	
H38	2 箇所	1,530 m	132,930	
H39	5 箇所	1,840 m	123,880	
H40	8 箇所	1,980 m	121,100	
H41	6 箇所	2,230 m	121,160	
小計	71 箇所	26,680 m	1,928,360	
H42～	53 箇所	34,160 m	2,843,910	
合計	124 箇所	60,840 m	4,772,270	

【目標管理】

基幹管路及び重要給水施設配水管耐震化計画は、「地域水道ビジョン 2010」に基づく事業計画であることから、本計画の進行管理については、「同ビジョン」における進行管理に併せた考察を行うことを基本とします。